



コメント：綺麗な桜が咲いたので、ちょっとお散歩に来ました(^^)

〈赤磐医師会病院基本理念〉

- ❖ 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- ❖ 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- ❖ かかりつけ医との連携を深め、地域と共にある病院を目指します。



赤磐医師会病院

看護部部長師長紹介



前方左より

榮谷 (外来・地域医療連携室)

藤本 (部長)

青山 (副部長、地域包括病棟)

後方左より

重末 (回復期リハビリ病棟)

時長 (療養病棟)

橋本 (急性期一般病棟)

近藤 (急性期一般病棟)

春暖の候となりましたが、2月上旬より新型コロナウイルス感染拡大問題が浮上し、全世界が脅かされています。今未知のウイルスとの戦いで、毎日メディアでも話題にならない日はない状況となっています。

このような状況の中ですが、看護師としてとるべき行動は一つです。目の前の患者様により良い看護ケアの提供をすることに尽きると感じています。

さて、この度長きにわたって赤磐医師会病院の看護に従事した、看護師3名が定年退職となりました。中でも、山田副看護部長には、赤磐医師会病院の看護部として心得ておくべきこととして、かかりつけ医(医師会の先生)や地域住民に支えられ成り立っていることや、恥ずかしくない看護ケアの提供等、看護師としての信念の部分をお教えいただきました。この教えを伝えていくことが私の務めと感じています。長い間管理職としてご尽力いただき本当にありがたく感じています。

一旦管理職からは退くこととなりましたが、引き続き赤磐医師会病院で勤務されます。他の2名も同様であり、プラチナナース(定年退職前後の看護職)として『働き続けられる病院』を実践しています。

そして、新たに重末千亜紀看護師長を迎えました。冷静、沈着で患者様にもスタッフにも落ち着いた対応を心がけており、安心して任せられる師長です。副看護部長1名、師長5名、主任12名(新主任2名)、新入職者6名(内3名新人)を迎え、看護師131名、看護助手37名が一致団結し看護部の活性化に貢献してまいります。

みなさま、どうぞよろしく願いいたします。

看護部長 藤本 由紀子



新人紹介

非常勤内科医師（健診担当） ● 草地 省蔵 先生



1月より健診部に勤務しております。手作り感あふれる健診システムなので健診受診者の方へ丁寧な説明を心がけるようにしたいと考えております。趣味は鉄道模型(庭園鉄道Gゲージ)、クラシック音楽、アンプ作り、スピーカーボックス作りなどです。皆さまが頼りです。よろしくお願いいたします。

臨床工学技士 ● 西嶋 友美



以前こちらの病院の透析室でお世話になっていた西嶋です。1月から再び透析室で勤務させて頂くことになりました。少しでも早く仕事に慣れることができるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。

看護補助者 ● 荻野 桃香



2月より東3階で勤務させて頂いています。分からない事が多く皆様にはご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくお願いいたします。

看護補助者 ● 宮崎 雅子



1月より南3階でお世話になっております。趣味はダイビングで気分転換をしています。皆様には大変ご迷惑をお掛けすると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



感染対策委員会

全ての医療機関にとって、院内感染の予防・対策は最重要課題の1つです。当院では、平成11年から感染対策委員会を組織し、院内感染の予防に取り組んできました。また実行組織として感染対策チーム(ICT)を別組織としています。感染対策委員会は、院長をはじめ各部門の代表が集まり、病院としての基本方針を決定しています。ICTは現場の状況を把握し、感染管理活動を実践しています。

主な活動としては、耐性菌・感染症サーベイランスの実施、年2回の研修、病棟ラウンドを行い手洗い・手指消毒を中心とした感染予防の啓蒙活動、職員へのインフルエンザ・B型肝炎ワクチンの接種、院内感染対策マニュアルの編集、感染流行期の病院対策の策定等です。

現在流行している新型コロナウイルスへの対応など感染症をめぐる問題は尽きませんが「安全で安心できる医療」を目指して、努力を続けていきたいと思っております。

感染対策委員会：安部



マスク



手洗い



うがい

○ 蟹入りカリフラワーの蒸し物

材料(2人分)

A	カリフラワー……………65g
	ズワイガニ缶……………55g
	卵……………30g



◎ポン酢あん

だし汁……………	大さじ1
ポン酢……………	小さじ1
とろみ剤……………	適量

作り方

- ① カリフラワーを洗い小房に分ける
- ② 鍋に水を入れ軟らかくなるまで茹でる
- ③ ザルに上げ5分水にさらす
- ④ Aをミキサーにかけ容器に入れ、蒸し器で15分蒸す
- ⑤ 蒸し上がれば器に盛り、ポン酢あんをかける

Pint

- カリフラワーはしっかり水を切っておくと水っぽくならない
- ポン酢あんのとろみは中間のとろみが食べやすい
- いろいろにパセリやセリをみじん切りにした物を飾っても良い

「おばあちゃんのポルカ」

CDのご紹介

by ZaZa with ルッタッタトリオ

この度、公益社団法人赤磐医師会が、元国立感染症研究所室長で尺八演奏家の岸本寿男先生と、シャンソン歌手ZaZa氏の企画提案により、地域医療促進活動の一環として、「おばあちゃんのポルカ」というCDを製作しました。

製作にあたっては、ZaZa氏ご自身が家族の介護を通して感じた経験から、「おばあちゃんのポルカ」を作詞し、介護を明るく応援する思いを込めて、今回は高齢者に親しみやすいバージョンでの演奏になりました。

微力ではありますが、看護や介護に関わるご家族や、医療福祉関係の方々に聴いて頂き、施設などでのレクリエーションやイベント時にご活用頂ければ幸いです。

公益社団法人赤磐医師会



お問合せは

赤磐医師会 事務局まで
086-955-8188



赤磐医師会病院 外来診療・検査担当表

令和2年4月1日現在

		月	火	水	木	金	土
外来診療・健康診断	内科一診(再診)	近藤 稔人	平井 通雄	柚木 直子	平井 通雄	岩藤 恭昌	休診
	内科二診(初診)	城本 真佑	牧田 雅典	吉井 将哲	瀧川 雄貴	担当医	
	内科三診(再診)	佐柿 司	佐藤 敦彦	大井 祐貴子	大村 大輔	高津 瑤子	
	内科四診(再診)	柚木 直子	福田 能丈	友田 純			
	内科午後(予約外来)	大宮 照明 灘 隆宏					
	外科	戸田 佐登志	宮木 功次	内田 卓之	戸田 佐登志	宮木 功次 蓮岡 英明(第3)	
	整形外科	片山 信昭	尾下 遼※1	片山 信昭		片山 信昭 尾下 遼	
	リウマチ外来(予約・紹介制)		片山 信昭※2				
	上肢・手の外科(予約制)				今谷 潤也※3		
	泌尿器科			横山 周平※4		渡邊 豊彦	
	呼吸器内科(予約・紹介制)		山岸 智子	藤原 慶一	松尾 潔		
	呼吸器外科(予約・紹介制)					片岡 正文 (第1・2・4・5)	
	糖尿病内科(予約・紹介制)	岡崎 悟※5	大宮 照明	前田 英紀※5		前田 英紀	
	循環器科(予約・紹介制)	兼澤 弥咲	小倉 聡一郎※6 赤木 達		赤木 達※7		
腎臓内科(予約・紹介制)		大宮 照明					
脳神経内科(予約制)				佐々木 諒			
健康診断	平井 通雄	草地 省蔵	米井 二郎	友田 純	担当医	(第1)丸山 昌彦 (第3)担当医	

診療受付時間：午前8時30分～午前11時

整形外科	※1 火曜日	午後1時～午後3時
リウマチ外来	※2 火曜日	午後1時～午後3時
上肢・手の外科	※3 木曜日	午前9時30分～午前11時
泌尿器科	※4 水曜日	午前8時30分～午後12時
糖尿病内科	※5 月・水曜日	午後2時～午後4時
循環器科	※6 火曜日	午前8時30分～午前11時 午後2時～午後4時
	※7 木曜日	午前8時30分～午前11時 午後1時30分～午後4時

※都合により休診になることがあります。



私は、散歩をするのが好きで、家の近所を2キロほど歩いています。

空気の匂い、景色の移り変わりが感じられ、気持ちも上向きです。

例年であれば、お花見、バーベキュー、スポーツ…と何かしたくなる季節ですが、

1人、ひとり手洗い・うがいを心掛けて、感染予防に努めましょう。

(編集部：岡田)

地域医療支援病院 赤磐医師会病院

〒709-0816 岡山県赤磐市下市187-1

TEL 086-955-6688 (代) FAX 086-955-4946

HP <https://www.akaiwa-mah.jp/>

発行日 令和2年4月15日





「かかりつけ医」をお持ちですか？

健康に関することを何でも相談でき、必要なときは専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のことを「かかりつけ医」と呼んでいます。ご家族で、近くの開業医さんを「かかりつけ医」に決めておくと大変便利です。

日頃の皆さんの健康状態を知っていて、気軽に何でも相談できる「かかりつけ医」がいれば、体調などに関して何でも相談できるので、必要なら医療面で早めの対策がとれますし、検査や入院等が必要な場合は適切な病院・診療科を紹介できます。

当院は県から地域医療支援病院に認定されており、「かかりつけ医」の先生から患者さんの紹介を受けて、より詳しい検査や治療を行なう役割を担っています。また岡山市内の高度医療を提供する医療機関と連携を図り、患者さんが在宅に復帰しやすいように高度急性期治療を受けた後の受け皿としての役割を担っています。

病状が安定した患者さんには、「かかりつけ医」の先生への紹介をさせていただいており、疾患や病状によっては、「かかりつけ医」の先生と当院が連携して、患者さんの状態を長期にわたって診療する場合があります。

まずは、かかりつけ医をお持ちいただくようお願いします。

お住まい近くのかかりつけ医をお探しの方は、地域医療連携室までご相談下さい。

